

常任委員会の審査

各常任委員会では、所管事務調査で専門的な調査を実施しました。

総務文教委員会

所管事務調査

- 世界遺産のまちづくりについて【政策課題】
(富士山本宮浅間大社東側市有地整備事業及び一級河川神田川護岸工事(県施行)の進捗状況について)

【稲葉晃司委員長のコメント】

総務文教委員会では、富士山本宮浅間大社東側市有地整備事業の進捗状況について所管事務調査を行い、平成31年3月23日にオープンした、Mt.Fuji Brewingを視察。店舗内の様子や、300ℓの仕込み釜をもつビールプラント、厨房での調理の様子などを見学しました。その後、経営者にお話を聞かせていただき、厳選した富士宮市の食材をお客様に楽しんでいただきたいとのことでした。中心市街地の活性化の新たな可能性に期待したいものです。



▲ Mt.Fuji Brewing にて

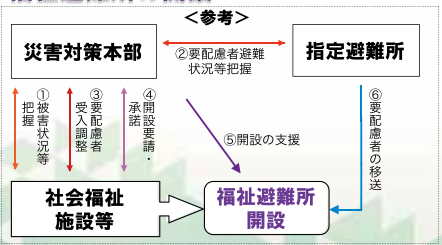
環境厚生委員会

所管事務調査

- 富士宮市立病院の事業報告について
- 福祉避難所の運営について

【齋藤和文委員長のコメント】

福祉避難所の開設



▲福祉避難所の開設についての資料

環境厚生委員会では、平成30年3月に当局へ提言した、年に一度の富士宮市立病院の事業報告を受け、各委員からは医師・看護師不足の対策や修学資金貸与の状況や卒業後の市立病院への勤務状況の実態など多くの意見が出されました。福祉避難所については、市から事業者に対する方向性が明確化していないこと、要配慮者(高齢者・障がい者)の中に、妊産婦や乳幼児も入れるべき、災害時のスクリーニング等を改善するよう、意見が出されました。

産業都市委員会

所管事務調査

- 環境調和型バイオマス資源活用モデル事業について
- 富士宮市北部の観光施設について

【佐野和彦委員長のコメント】

所管事務調査として、平成30年8月末で実験終了予定の富士山朝霧バイオマスプラントと北部観光の起点となる道の駅朝霧高原とあさぎりフードパークの現地調査を行いました。この中で、プラントが今後も朝霧の酪農家のための施設であることを引き続き行政課題とすること、中部横断自動車道開通の影響、看板や誘導路等の問題提起があり、今後の行政課題として取り上げていくことを望みます。

また、2年間取り組んできた政策課題について委員長報告を行い、その後、市長に提言書を渡しました。



▲富士山朝霧バイオマスプラントにて